

令和7年度 学校の教育活動についてのアンケート集計結果(教職員用)

計 46名 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

No.	内 容	A	B	C	D	
1	児童生徒は、めあてをもって生き生きと学校生活を送ることができている。	11%	85%	4%	0%	
2	児童生徒は、精一杯努力する人に育っている。	4%	87%	9%	0%	
3	教材研究と指導の工夫により、日々の授業のねらいを達成し、子どもたちに確かな学力をつけることができている。	17%	78%	4%	0%	
4	個々の教育的ニーズをとらえ、個別の教育支援計画・指導計画を策定・活用し、適切な指導を行っている。	15%	80%	4%	0%	
5	地域や居住地及び他校との交流及び共同学習は、状況を踏まえながら積極的に行っている。	34%	73%	5%	0%	
6	学校や寄宿舎の行事は、児童生徒にとって魅力ある活動であると共に、主体的に活動できるよう工夫している。	15%	78%	7%	0%	
7	企業、施設、保護者、関係機関等と連携し、キャリア教育並びに進路指導が効果的に実施されている。	13%	78%	9%	0%	
8	いじめや問題行動等の未然防止に向けた対策がなされ、発見した際にも迅速かつ丁寧な対応を行っている。	37%	63%	0%	0%	
9	児童生徒にとって清潔・安全な生活・学習環境となるよう、学校及び寄宿舎の施設環境の整備を行っている。	13%	74%	13%	0%	
10	学校での学習や活動について適切に伝わるよう、通信や連絡帳、面談などを通して保護者との情報共有を図っている。	24%	76%	0%	0%	
11	児童生徒の心身の健康について、相談しやすい環境となるよう、傾聴や適切な情報提供に努めている。	28%	70%	0%	0%	
12	授業参観や懇談会、PTAや学校・学部等の行事は、状況に応じて適切に工夫、計画している。	19%	90%	0%	0%	
13	校務の分担が適切になされ、各分掌や各学部が緊密に連携し、校務の分掌機構が円滑に機能している。	11%	87%	0%	0%	
14	各種会議は、情報交換、課題検討、共通理解の場として有効に機能している。	12%	93%	5%	0%	
15	同僚性と連帯感があり、支え合い、働きがいのある職場づくりができている。	19%	79%	10%	2%	
16	事故、事件、災害等に対して、迅速かつ適切な対応ができるよう役割分担と連携の仕方が明確になっている。	20%	76%	4%	0%	
17	個々の倫理意識を高め、チェック体制を整えて、公金や個人情報等の管理がしっかりできるようになっている。	48%	48%	4%	0%	
18	校内研究及び研修により、障がいの特性や指導法等について理解を深め、指導の充実と専門性の向上が図れている。	20%	74%	7%	0%	
19	地域における特別支援教育のセンター的機能を果たすことができている。	30%	67%	2%	0%	
20	業務の効率化を図り、時間外勤務時間の削減に努めている。	26%	67%	7%	0%	